

## 令和3年度 第1回 ビジネス実務学科 FD 報告

日時：2021年10月19日(火)15:00～16:00

担当者：藤元、井戸

場所：A135 教室

参加者：藺森、瀬戸、矢澤、越野、坂上、廣瀬、井戸、若月、丹羽、藤元

#### <テーマ>

各授業科目における到達目標の達成状況に対して成績評価が適正であるか、GPAの分布などから学習成果の達成状況を評価し査定（アセスメント）する

#### (内容)

初めに井戸先生から、2021年度前期におけるビジネス実務学科の開講科目について、成績分布表（成績割合 SABCD、単位取得率、平均 GPA など）が配付され、平均 GPA が高い科目（3点台強）、低い科目（2.0未滿）が紹介された。また、平均 GPA と受講者数の分布グラフが示され、傾向として受講者数の少ない科目の平均 GPA が高いことが示された。

次に、平均 GPA の高い科目や、低い科目、担当者が複数の科目における平均 GPA のバラツキについて各担当より説明があった。

平均 GPA の高い科目は、主に S(秀)の割合が高くなっており、中には 80%以上が S で問題ではないかという意見があった。平均 GPA の低い科目は、時数不足や再試未手続など途中で諦める学生が多い科目であるという説明があった。担当者が複数の科目における平均 GPA のバラツキについて、会計実務演習 I については検定試験結果に従って成績をつけておりその時の検定の難易度によっても変わる、ビジネス教養系の授業では担当教員によって成績のつけ方にバラツキがあり今後非常勤講師との科目別会議で調整をしていきたいなど説明があった。次回は科目別にまとめて平均 GPA を算出予定。

科目の性質によって多少違いはあるが、努力した学生が A(優)、特に優秀な学生が S(秀)評価となり、平均 GPA が 3点弱くらいになるのが望ましいと概ね学科内でコンセンサスが取れた。今後は、非常勤講師との合同会議などの機会を利用して、非常勤の先生方にもこの方針を伝えていくことになった。



次に井戸先生より、学修評価シートが配付され、客観評価点から自己評価点を引くとマイナスになる場

合は、自己評価が高いと説明があった。

中には自己評価のつけ方が問題ありの学生も見受けられ、クラス担任の面談を通して適正な目標設定が必要などの意見があった。面談時には、各学生の成績と学習評価シートを関連して参照できるシステム提供を求める意見も出された。少なくとも学修状況に問題がある学生の早期発見と支援に役立てていくことを学科内で確認した。